

◀ 国調へ10月1日の朝が澄み々 ▶

10月1日午前零時、この時、日本に住んでいるすべての人々が一斉に調査される。これを国勢調査と称す。この日の夜明けとともに全国49万余人の国勢調査員の足音が響く。この記念すべき日を祝福するように空は澄み渡っていた。

◀ 豊年のうねり調査の足かるく ▶

今年に雹害、台風による風害はあつたが一般的には平年並みか、田んぼの豊かな実りにこれから受持調査区を回る調査員の足どりも自然と軽くなる。

◀ 差別別かれた女フト思い ▶

結婚の関係、離別に〇をつけて、ふだん思ひ出すこともなくなつたあの女を思い出した顔、短かかつた二人だけの暮らしの中のあれこれなど、ほろにがしさを伴う。出させるのも国勢調査のいたづらでなく。

◀ 代表者わびしく独り夜の膳 ▶

調査で問借り、下宿などしている人は国勢調査では準世帯としてひとりごとに調査票を提出することになる。一人でも代表者とはなれど、ナゾナゾのようだが、この場合世帯主との続柄欄には代表者と記入する。世帯をへつておかしくもない独り者、秋の夜の独りぐらしはなんと味気ないことかあるまいか。

◀ 農手伝い僕も仕事をしたと書く ▶

9月24日から30日までに一時間でも仕事をした者は、調査票には仕事をしたことになる。9月26日は日曜猫の手伝いといわれる農繁期、中学、高校生ともなると無理でもいられない、稲運び、脱穀などと使われることになる。もちろんこの場合は学生であつても仕事をし、勤労者に格付けされることになる。

◀ 肩ひろい自営業主という誇り ▶

職業に貴賤の別はないというが、どんな仕事でも社会の一環として他人に迷惑をかけることなく真面目に生きることが貴いことであるが、職業によつては他人の迷惑をかけることは意外に冷めたい。国勢調査では大商店の主人でなく、肩ひろいであつても同じように自営業主と書くこと

◀ 国調の人口予想あれやこれ ▶

10月1日の県の人口は何人ですか、国勢調査の広報の一環として予想人口が募集された。9月30日をもつて切られたが果して本県の人口は減るか、増えるか経済の動向によつて人の動きも大きく変つていく、応募した方は以前の記録とか、周囲の人の動きなどから判断してこれならと思つて応募されるだろうか。間もなく本県の人口概数が公表される栄冠は誰の手に。

◀ 子の意見きいて人口予想をし ▶

家中の団らんの一瞬、回覧板の人口予想に話がる。若い知識による子の意見もこんなときには大きな参考となることだろう。12月に公表される人口概数に期待して――。

◀ コホロギのリズムにあわせ個票書く ▶

今年の秋は、例年より早く駆け足でやつてきた、朝晩の冷え込みはめつきりと肌寒く感じられる。

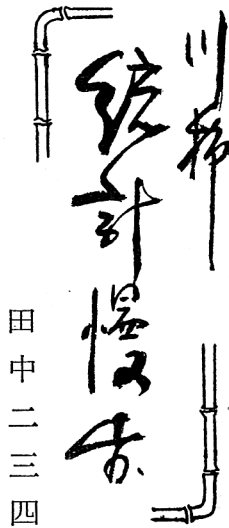
今度の国勢調査は、早期公表ということで調査員が調査個票を担当する調査区の世帯員について1人1枚づつ記入することになる。10月1日から集めた調査票から鉛筆で所要の場所に記入する。コホロギの声が秋の深さを告げている。

◀ ソロバンがピタリ人口はじき出し ▶

調査区の各世帯を確認するために作られる世帯名簿、その世帯名簿の世帯人員の合計がその調査区の国勢調査人口となる。これが市町村ごとに積みあげられ県の人口概数が計算される。調査票の男女別の人員と世帯ごとに突き合せた世帯名簿にソロバンを入れるこの合計人員が調査個票の枚数と合っていることはもちろん。

◀ 大任を果たした夕焼美しい ▶

10月5日調査関係書類を一まとめにして指導員に提出すると調査員としての役目は終り国勢調査から解放される。普段見馴れていてあまり感じたこともない辺りの風景が、無事、大任を果たしたという誇りと、責任感から解放された安らぎが、澄み渡つた秋空を黄金色に染めた夕焼の美しさを今更のように感慨深く眺められるのである。



田
中
二
三
四

(13)

統計の改善

関東甲信静ブロック統計主管課長会議

行政管理庁統計基準局主催による標記課長会議が、9月17日茨城県庁内会議室で開かれました。

この会議は定例的なもので、毎年開かれているが主な議題は下記のとおりで、行政管理庁からは統計基準局企画課長河合三良氏が出席しました。

議 題

- 1 昭和41年度予算要求について
- 1 ブロック幹事県統計課長会議の開催
- 1 統計調査員の選任について
- 1 統計調査員の手当について
- 1 その他

麓 課 長 来 県 視 察

総理府統計局国勢統計課長麓富夫氏は藤田事務官とともに国勢調査の実施状況をつぶさに現地に視察のため、9月8日来県した。同日県庁において事務執行状況聴取後ただちに水戸市渡里公民館及び飯富支所において開かれている調査員の事務打合わせ会に出席現地の模様を視察、翌9日は麻生町の行方農協内での打合わせ会を視察帰京した。

国勢調査第2次市町村統計主管課長会議

昭和40年国勢調査については、その完璧を期するため第2回の市町村統計主管課長会議を下記日割で県下4か所で開催しました。

8月23日	日立市	8月24日	阿見町
8月25日	下館市	8月26日	麻生町

議事内容は主として国勢調査の調査票など諸表の注意事項や事務の進行計画、書類の提出期間等についてである。

鉦工業関係調査関東甲信静ブロック会議

去る9月2・3の両日、群馬県伊香保町山陽ホテルで開かれた。本県からは竹内統計課長・横須賀係長他係員3名が会議に出席した。

議題は昭和41年度の鉦工業動態統計調査に関する事業計画ならびにプラスチック成形工業動態統計調査に関する事業計画などが主なもの。

40年工業統計調査関東甲信静ブロック会議

去る9月10・11日の両日、栃木県塩原温泉いこいの家

で、40年工業統計調査の実施にもなる事務上の説明について打合わせを行なった。本県から横須賀商工統計課長他3名が出席。

39年県民所得推計方針

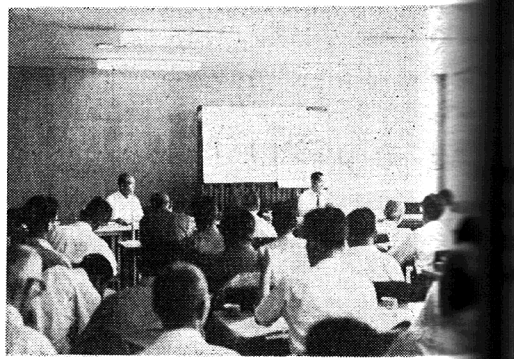
さきに国民経済計算審議会より政府に対し、国民所得の算定方式について答申がなされ、なおこれにならぬ経済企画庁で各県の意見などを参照して、県民所得算定方式の粗案が示されているが、本県においてはこれららうべく研究中であつたが、従来の算定方式を変えることは利用者の影響、諸準備のため一応39年の県民所得推計にあつては、従来の方式により推計を行なうこととした。この統計作業は既に県統計課企画係で進めて年内公表を目標に努力している。

中間農業センサス集計

中間農業センサスは、統計課員並びにアルバイトによつて6月から集計を進めているが、農家調査の段階は終り農林省への進達はすみ、本月末農林省発表につづいて本県でも発表する予定である。その題目の調査結果についても全部年内には公表できる見込みがある。

国勢調査員事務打合せ盛かん

県下各市町村では指導員が中心となつて、8月と9月中旬頃まで各所で開かれている。何んといつて調査員の方によく調査内容、方法手順などを知つていただくことがこの調査の成果をあげることになるのである。この市町村でも調査員の訓練に馬力をかけている。去る9月2日笠間市役所で開かれた全市の調査員

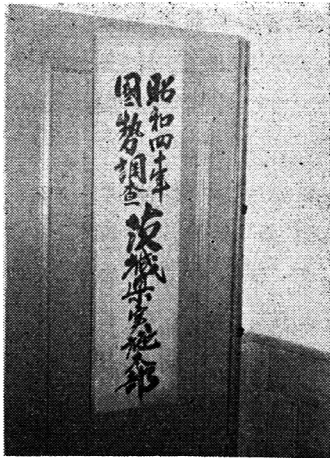


全の模様である。出席者にはもう何回も国勢調査
きうけているような方や今回が初めての方など皆
きていた。今後市ではブロック毎に各所で打合
置く予定とのこと

国勢調査こぼれ話

県実施本部の看板

看板は3階に上
課入口に墨
筆やかに掲げ
ている昭和40年
茨城県実施
部とした看板が
、この課に用事の
、などもその字の
、に、じつと立
、まつてながめて
、ものもある。日
、字はほんとうに
、。芸術がある
、である。ローマ字
、に比較にならない。



この大看板が統計関係者のシンボルでもあり誇りでも
、ようにでんとかかっている。実施本部が解散し入口
、られる時期もくるであろうが、短い期間ではあつ
、統計マンの生きがいとして、私達を励ましてくれた
、をおしみなくいたわろう。この筆跡は統計課課長補
、が精魂こめた傑作である。記念として永く保
、たいものである。

国勢調査広報塔

国勢調査の意識の向揚と一般の人びとの協力を期待し
、実施本部では水戸駅前に大きな角塔をたて人目をひい
、この立看板の高さは5米、横巾90センチで朝夕水戸
、利用する通勤、通学や旅行者は必ず見あげて通つて
、色彩も明るく美しいため、今月一杯は皆様の目に
、することであろう。協力を期待すること切。

コ ッ プ

今回の国勢調査で初めて国勢調査の名入コップを各市
、に配布したが非常に好評で、次回の国勢調査まで使
、統計に対する認識も高まると来客には早速ジュース
、を入れて接待している。一石何鳥のコップ残念なが
、を添えて配布できなかったのが玉にきず。

人口の懸賞募集あれこれ

国勢調査も10月1日をひかえ、準備万般多忙の真最中

広報班も多忙をきわめ新聞雑誌は勿論、ラジオ、有線放
送、各戸回覧のチラシ、ポスター、スライド、看板、さ
てはマツチ、風船まで種々雑多、特に県民の注目をあつ
めているのが予想人口の懸賞募集、期日も迫つてきてい
るので毎日数十通が本部にまい込み受付係を喜ばせてい
る。その応募の中から二三変つたところをひろつてみる
と、まづあまり達筆で名前の読めないのや、数字の単位
違いやコンマのうちかたなどの違いもあり、応募者は全
県にまたがり、老若男女を問わず職業などもいろいろ、
面白いのは不要の年賀はがきや暑中見舞用のはがきを利
用した経済家もおり一石二鳥というところ、どこの方が
当るやら今から楽しみ。

街頭の拡声放送

国勢調査の広報の一環として、マイク付の広報宣伝車
で5日間県内主要道を走行する予定だが、マイクの主が
なかなかいない、声が悪いと遠くの方できくと何をいつ
ているのか分らない、とくに男性などではあつくるしく
そつぽを向かれてしまう、実施本部でも人選難、茨城県
人は普通対話のときは分らないが、マイクできくとどう
もズーズー弁、拡声放送の効果としてはマイナスである。
やはり標準語で玉のような美声の持主がよい、かげ
の声はだれだろうと疑問をもつくらいなら効果はプラス
になるだろう、皆さん県広報車が美声をはりあげて通つ
たらよきいて下さい。果してトーキョウローズは誰
か。

国調書類提出期限

本月をもつて国勢調査の準備事務は完了、10月1日を
もつて調査が実施されるが、その後市町村、県などは多
忙を極めることとなりますが、本県においては10月25日
を総理府への進達期限に決定報告いたしております。市
町村においては、それぞれ書類提出期限までには必ず送
付できるように協力をお願いいたします。

調査員手当の予算要求単価

調査員手当額については、行政管理庁からの諮問に対
し、昨年統計審議会は、これを国家公務員の行政職俸給
表(1)の7等級2号俸の給与に相当する額(日当として当
時700円)が適当であり、今後、公務員給与のベース改
訂にスライドさせるのが妥当である旨の答申を出した。

しかし、一きよに40年度の調査員手当の単価として、
700円を要求しても実現の可能性がうすいとして、当時
の単価350円の約5割増の550円の要求を出し、これが結
局500円という線におちついたわけである。これらの41
年度の要求としては、39年9月以降適用の国家公務員俸
給表の引上げ率7.9%の引き上げ分は当然に実現される
ものとし、さらに、この俸給表による日額784円との差
を4分の3つめた720円という線で要求することになつ
たもようである。

近 着 統 計 資 料 案 内

図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者	図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者
総 記			工業統計調査結果報告	38年	京 都
40年国勢調査産業分類		総 理 府 統 計 局	産業連関表作成報告	39年	〃
〃 符 号 表		〃	島根県農家基本調査結果	38年度	島 根
税 務 統 計 書	38年	関東信越国税局	就業状態基本調査結果	39年	富 山
35年国調人口総覧(全国編)		総 理 府 統 計 局	県民所得推計結果	38年	愛 媛
〃 (各ブロック編)		〃	群馬県市町村民所得統計表	〃	群 馬
産業・経済			工業統計調査結果	〃	富 山
事業所統計調査報告	38年	総 理 府 統 計 局	商業統計調査結果	〃	大 阪
葉たばこ生産統計表	39年	日本専売公社	山梨県統計年誌	〃	山 梨
商業統計速報	39年	通 産 省	長野県統計書	〃	長 野
窯業統計年報	38年	〃	工業統計調査結果	〃	山 梨
建 材 〃	〃	〃	事業所統計	〃	〃
日 用 品 〃	〃	〃	工業統計調査報告書	〃	大 阪
皮 革 〃	〃	〃	群馬県の商業	〃	群 馬
ゴム, 塩化ビニール 〃	〃	〃	統計年鑑	〃	新 潟
化学工業 〃	〃	〃	家計調査結果報告	39年	栃 木
教育・文化			岡 の 商 業	39年	福 岡
文 部 省 年 報	38年	文 部 省	大阪府民所得	38年	大 阪
社会・労働			琉球統計年鑑	38年	琉 球 政
住宅統計調査報告	38年	総 理 府 統 計 局	島根県統計書	39年	島 根
労働経済の分析	39年	労 働 省	県民所得白書	38年	山 梨
国民健康保険事業年報	38年	厚生省保険局	家計調査年報	39年	長 野
労働力調査報告	40年上	総 理 府 統 計 局	宮城県資金循環表	38年	宮 城
住宅統計調査報告 (各都道府県別)	38年	〃	県 民 所 得	〃	和 歌 山
労働力の産業連関分析	39年	労 働 省	茨 城 県		
住宅統計調査報告(全国編)	38年	総 理 府 統 計 局	県税決算額調べ	39年	県 税 務
労働力調査特別調査報告	38年度	〃	県内労働情勢	〃	県 労 政
各都道府県			商業統計調査結果	〃	県 統 計
地域別県民所得	38年	千 葉 県	鉱工業の生産動向	〃	〃
38年度県民所得	38年	〃	消 防 年 報	〃	消 防 学
事業概要	39年	〃	人口動態の概況	〃	県 医 薬 書
統 計 年 鑑	〃	〃	失業保険事務概要	〃	県 失 業 保
			商品流通調査結果報告	40 3 39	年 月 年 県 統 計 農 林 省 茨 城 県 査 査 事 務 所
			漁獲統計年報	〃	〃

大久保今輔(4)

前田香径

前田のことであるが私は大久保家と血縁の和田弘見
 三郎の自宅を訪ね、今輔についていろいろと質問
 することがある。84歳の翁は頗る頑健だったが、今輔は
 三郎の青衰を持つて出奔したこと、田掻き馬の鼻をし
 むるとき、養父に叱られたのが家出の動機であつたこ
 とを詳しく語つてくれた。今輔の母、石川氏は、亀
 谷の養子である小目村(現常陸太田市)川中郷の百姓助
 重衛門の女であるが、今輔の異父弟重衛門を生んでから
 今輔に対する愛育には変るところなかつたのであ
 る。しかし、今輔と養父とはソリが合わなかつたのであ
 るまいか。今輔は成功してから母を通じ駕籠に乗せ
 て送り、自邸に迎え、て頻りに孝養をつくしてい
 てゐる。

今輔は最初に草鞋をぬいた水戸城下藤柄町鍛柄職人六
 郎との関係や仲間に住みこんだという藩士某との経
 緯については全く知るところがないし、彼が江戸に
 出て来た名の門に出入したという事実も、断片的な資料
 から推察されているにすぎない。常陸太田市刑行の今輔の
 略年譜には彼が江戸に上つて最初は神田辺の酒店に奉
 仕、尊徳をやつたこと、安永元年(1772)江戸の旗
 本、折介の集團が吉原で喧嘩をした際に、彼がその
 喧嘩をして事が落着し、一時に俠名が江戸市中に高まつ
 たことなどの逸話を載せているが、その事もどこまでが
 真実か見当がつかない。

水戸の大久保家に保存されている「亀作邑内田畑名寄
 帳」を見ると、今輔の生家の1年の収入はほぼ見当
 がつく。その持高帳に「寛延元年辰8月」とあり、今輔
 生家の一年前であるが、耕作反別は地番別に記入されて
 る。すなわち水田4反1畝27歩と畑1反4畝2歩、そ
 の外(三租)は田畑を合わせて6石3斗1升である。
 一家の年収入は平年作で玄米32、3俵だから、公
 米3石3斗を上納し、その残米で家族4人の生計をたて
 るとすればかなり窮屈に相違ない。殊に凶作が続け
 ると三斗の食事も白い飯を食べることはできない。今
 輔の出奔は「口減らし」になつて、彼の一家にとつてむ
 づかぬだつたかもしれない。

天明3年(1771)の春、北郡に鑄銭座事件の起つたの
 が天明の凶作による農村の困窮が原因だつた。太田村
 小沢九郎兵衛らの請願を容れて藩が太田に鑄銭座
 を設けたのは天明5年、その結果は錢価が下落し、農
 民生活はいよいよ苦しくなり遂に彼らのふんまんは爆

発して北郡の青年数十人が静明神の神輿を奉じて殺倒
 し、銭座を焼きはらつたのである。この騒動は今輔出奔
 の前年で、彼が内藤侯の仲間に住みこんだのは安永3
 年、すなわち事件後4年しかすぎていない。

内藤は日向国延岡の城主紀伊守正樹であろう。佐藤一
 斎の撰と称する彼の碑文に「初め沼津侯に仕ふ」とあり
 沼津侯は駿河国沼津城主水野出羽守忠友が、その養子の
 忠成か、ともあれ、その江戸屋敷は和田倉門外辰の口にあつた。碑文に内藤のことは書かれてないが、松浦静山の「甲子夜話」(続篇16)は

「今助もと手廻奉公をして虎門なる内藤公(7万石)に
 草履取りをしありしが爰より工面なほりて、今の身分
 とはなれり」

と記し、さらに今輔について次のように書いている。

「予一度其面を見んと思ふ。因て来らば告られよと云
 へば発途のとき、品川には必ず送り来らん。其時御言
 を達すべしと云、これより肥州を彼駅に送るに及で、
 今助果して来る、肥前前言を通ず、今助喜び余の鯨津
 に居るに迫到れり。予引見するに、小長の老人にして
 実に聞しには劣りし碌々の一夫也」

この記載は貴重な一資料である。静山は読書を好み、
 「甲子夜話」正統2百巻を書き、天保12年、82才で没し
 たが、文中「肥州」とあるのは、彼が穩居後の平戸藩主
 を指しているのである。

江戸に格別の知己もなかつた今輔が、漸く世に出る機
 会をつかんだのは、水野侯に仕えたことによると思われ
 るが、「水戸歴世譚」には

「老中水野出羽守の家宰土方縫殿介に取入り、其より
 土木の請合、又は堺町芝居町の金主抔、種々様々のこ
 とを為して、遂に幾万といふ富家になり云々」

とある。今輔が土方縫殿介と交渉のあつたことは他にも資料があるから、恐らく間違いのない事実であろうが後に今輔は土方の手引で老中田沼意次に知られ、その庇護によつて出世したという一説もある。すなわち常陸太田市刊行の「略年譜」に「今輔は水野家の用人土方縫殿介と相知り、終に縫殿介と断金の交を結び、老中田沼意次と款を通じとある。意次の子意知が殿中で、佐野善左衛門のために斬られて死んだのは天明4年(1784)、まもなく意次も失脚したが、それは今輔が30才のときである。